



静岡県地方版
第364号
2022-4-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの
運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
 - 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

危機が迫る日本の食料

県本部理事 白鳥寛一

世界の小麦の主要な生産地のウクライナで起こっているロシアによるウクライナ侵略や気候危機などによってエネルギーや食糧の価格が一気に値上がりする事態となりました。ポーランドなどの避難先には多くの食糧などが届けられています。

かつて、食糧危機を経験したヨーロッパの国々では食糧自給が100%前後を維持しています。日本は37%です。しかも政府が水田活用交付金の見直し（交付対象水田を減らせ・飼料用米はこれ以上作るな・牧草の補助

金を三分の一にカットする）を突然出して、食料と日本農業を守り、発展させる観点はまったくありません。農地は一九六一年の三分の二に減少、農業従事者は二〇〇〇年240万人から二〇二〇年136万人に減少、今から20年後には42万人になってしまいます（財務省推計・農民連資料）。みなさんの住んでいる地域でも周りの畑が無くなっていませんか？ 国内消費の6割を超える輸入農産物を国内で生産するためには現在の2・6倍の農地が必要とされます。自民党による農産物輸入政策ではなく、日本農業を守り発展させる方向に変えなければ、子や孫が生きていけなくなります。

（静岡市・しらとり かんいち）

第四回県本部理事会を開催

4月12日、静岡国労会館において理事12人の参加のもとに第4回県本部理事会を開催しました。

最初に江川佐一会長が開会あいさつ。ロシアのウクライナ侵略を糾弾するとともに、「戦争か平和か」が厳しく問われるいま、「戦争する国」づくりの大合唱が起きるもと『翼賛体制』を許さない活動の重要性が訴えられました。続いて早崎末浩事務局長が、情勢および活動のまとめと当面の課題について報告しました。



情勢報告では、ロシアのウクライナ侵略に対して、

プーチン政権が「三つの無法」を犯していることを指摘、①武力行使を禁じた国連憲章違反②多数の民間人虐殺は、国際人道法に反する戦争犯罪③核兵器の先制使用の威嚇は、国連憲章および核兵器禁止条約に反する許しがたい暴挙、です。また、岸田政権や維新の会が「敵基地攻撃能力の保有」や「核共有」を掲げており、平和を壊す「翼賛体制」を許さない運動の重要性を示しました。

中東遠支部が会員拡大目標を超過達成

活動のまとめと課題では、中東遠支部が昨年11月の支部結成以来、毎月拡大を続け、県大会目標で掲げた支部目標の95人を突破して96人に到達したことが報告されました。

当面の活動では、劇映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」が、4月23日上映で島田市でとりくまれており、実行委員会では豊一枚大の看板やポスターやビラで宣伝しながら協力券の普及をはかっています。大看板は、これから県下で行われる上映会の際にも活用してもらうことにしています。中東遠支部では、参院選後の9月17日に袋井南コミュニティセンターで上映会をもつことで準備を始めています。この映画は、治安維持法問題を多くの人に知ってもらうとともに同盟づくりでも大いに力になるものです。

国会請願署名の促進、集約を

国会請願行動の5月11日に向け、請願署名を促進し、4月末をめどに集約をはかりましょう。集めた署名は支部か県本部にお届下さい。

私と国賠同盟

志太榛原支部 銘苺 弘実

今日のウクライナで行われているロシア軍による侵略行為は、日本の治安維持法が公布され天皇の絶対的専制政治のもとに行われた旧満州における関東軍によるデッチあげを理由に第二次世界大戦に突き進んだこととオーバードアップします。国民に本当のことを知らせずマスコミを統制し、政府に批判的な行為をとると拘束、弾圧、拷問、非人道的なことが行われました。

一つの例として、私の故郷で戦時中に次の様な事が起きました。波照間島は、家畜が多数飼育され鯉船が数隻有り農業も盛んでした。そこに学校の教員として山下なる人物が赴任してきました。最初のうちは、山下先生と慕われていました。ある日突然、アメリカ軍が波照間に上陸するという情報があり、司令部から西表島へ疎開せよとの命令がきたとの事でした。一五三〇年、オランダ船が西表島に漂着した際にマラリアハマダラ蚊がもたらされた

訃報

◇沼駿支部・土屋 貢さん、4月3日死去、88歳。県本部顧問、元共産党東部地区常任委員、元国鉄労働組合東京地方本部執行委員。ご冥福をお祈り致します。

との事で軍は西表島が有菌地であることを充分知っていたと思う。住民は疎開したら病気になる心配、波照間は無菌無病の島でしたから。たくさん牛や馬、豚、山羊はどうするのかと島民が聞いたのだすと、先生のはずだった山下（陸軍中野学校出身の軍曹だった）が日本刀を抜刀し物凄い形相で睨みつけ、米軍は肉が好みなので家畜を全部屠殺せよとの事。しかしそれは陸軍の食料だったのでした。

いまテレビの映像や新聞報道を見ると、戦前の日本が行った行為は、ロシア軍と同じではないかと、戦後生まれの私にも分かります。ですから憲法九条を遵守し、民主主義を発展させなければならぬと思います。私が国賠同盟の会員になったのは、波照間の日本軍とマラリア戦争、学生時代に見たベトナム戦争の米軍兵器の残骸などとともに、祖国復帰運動での瀬長亀次郎さんとの出会いがあった事です。これからも自由と民主主義を守り、世界平和を希求して頑張りたいと思います。

(焼津市・めかる ひろみ)

会員拡大と国会請願署名到達

2022・4・12現在

支部名	会員拡大					国会請願署名							
	目標	2月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	2月到達	増分	現在到達	個人目標	2月到達	増分	現在到達
伊豆	27	22		22	6	50	5	+1	6	350	20	+14	34
沼駿	60	53	-2	51	12	60	11	+6	17	800	55	+45	100
岳南	25	19		19	6	40	3	+12	15	350	29	+35	64
清水	45	33		33	8	60	11		11	1,100	593	+386	979
静岡	45	36		36	2	80	3	+8	11	500	25	+67	92
志太榛原	130	125	+3-4	124	34	50	18	+9	27	400	149	+30	179
中東遠	95	91	+5	96	12	50	31	+6	37	400	151	+70	221
西部	73	65		65	2	80	3	+6	9	750	57	+35	92
県本部	-	-		-		30	14	+1	15	350	0		0
合計	500	444	+8-6	446	82	500	99	+49	148	5,000	1,079	+682	1,761

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

限りなき 尊い御霊は 召され逝く
見守る空の 千の風の中

(花井征二様、長い間ありがとうございました。)

戦争に 生まれ暮らして十五年
ウクライナ戦禍 わが身のごとし

坂本氏の 国境婦女子救援の

メッセージは 祖国の 心琴を打つ

(坂本龍太郎氏 静大卒 現地ジャーナリスト)

半世紀前 学びで訪ねし 中欧の
平和への苦悩 深く学ぶ

静岡 松浦美智世

編集後記

▼ウクライナの事実を見ないプーチンと政権幹部の言動に唖然とする。あえて見ようとしないう国民に見せないのが現実か。
▼戦前の日本がそうであったように、戦争には国民に真実を知らせないことが伴う。だからこそ、真実をしっかりとつかみ国民に知らせていくことが戦争回避に絶対不可欠です。S・H

